

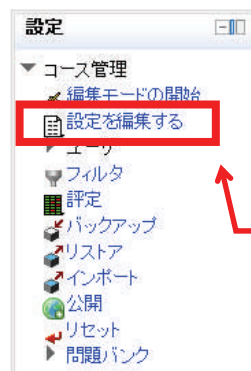
教育支援システム LETUS の利用について

1. コースを公開する

LETUS上のコース(授業)は、シラバスから自動的に作成され、各担当教員ごとにメニューに配置されています。しかし初期状態では、コースは学生に公開されていません。コースを学生に公開するには、以下の設定を行なってください。(詳細については、教員利用マニュアルをご参照ください)

① まずは、公開したいコースのページを表示してください。

表示できたら、左ブロック[設定]内で、【コース管理】→【設定を編集する】の順にクリックしてください。[コースの設定編集ページ]が表示されます。



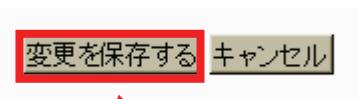
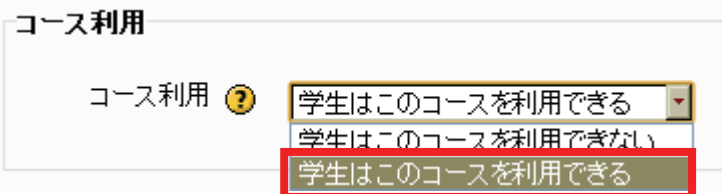
左ブロック「設定」

② [コース設定編集ページ]の【コース利用】欄で、公開の設定を行います。

プルダウンメニューから「学生はこのコースを利用できる」を選択してください。

選択が終わったら、【変更を保存する】ボタンをクリックしてください。

以上の設定で、学生への公開が完了です。



CHECK!

公開されているコースは、タイトル が青色文字で表示されます。非公開のコースは半透明の薄い青色文字で表示されています。

2. コースの履修者(参加者)について

LETUS上の履修者(参加者)は、シラバスから自動的に作成され、各コース(授業)に登録されています。この履修者の登録は、シラバス側のデータが翌朝(次の日の朝)、LETUS上に自動的に反映される仕組みとなっています。例えば、CLASSから学生が履修登録した場合、翌朝にLETUS側に反映されることになります。

3. コースに学生を自己登録させる

前述のとおり、LETUS上の履修者(参加者)は、シラバスから自動的に作成され、各コース(授業)に登録されています。しかし、『履修が決まる前にLETUSを利用したい・・・』、『履修とは別にコースに参加させてLETUSを利用させたい・・・』、といった場合は、以下の「自己登録」の設定を行なうことで対応が可能です。(詳細については、教員利用マニュアルをご参照ください)

① まず、自己登録の設定をしたいコースを選択してください。

【設定】-【コース管理】-【ユーザ】の左にある三角マークをクリックすると現れる【登録方法】をクリックしてください。[登録方法画面]が表示されます。



左ブロック「設定」

② コースへの【自己登録(学生)】の有効/無効を意味する【目のアイコン】をクリックしてください。[目を閉じた状態]から[目を開けた状態]へアイコンが変化します。

POINT!

『自己登録』の許可(有効化)とは、学生が自分自身でコースに受講登録(および登録解除)できるかどうかの設定のことです。

名称	ユーザ	上へ/下へ	編集
手動登録	2175	↓	X
ゲストアクセス	0	↑↓	X
自己登録(学生)	0	↑	X

登録方法ページ

確認

③ 【自己登録(学生)】欄の【目のアイコン】が[目を開けた状態]になっていれば、設定完了です。

以上の設定で、学生は自分自身でコースへ受講登録できます。

自己登録(学生)	0	↑↓	X
----------	---	----	---

CHECK!

【目のアイコン】をクリックする度に、「有効」、「無効」と順番に切替えることができます。